

を抱える聴覚障害児に対する介入（言語指導）の有効性の検証を行う介入研究の2つから構成されている。前者は平成21年度に全国130カ所の医療・療育・教育施設の協力を得てデータ収集が終了し、多くの知見についてまとめた冊子の刊行が進められている¹⁾。後者は平成23年度末までにデータ収集と検討が終了する予定である。

この感覚器障害戦略研究から得られた成果の1つに、“生後6カ月以内の補聴開始”を早期療育開始群と定義して、年中児から小学校3年生までの質問-応答関係検査（日本語による言語コミュニケーション能力の指標の1つ）の結果を検討したものがあつた。笠井は、319名（うち早期療育開始群は93名）を対象とした解析から、「早期に療育開始された児は、日本語言語性コミュニケーション能力が高得点群となる確率が、オッズ比で3.23倍（ $p < 0.01$ ）高くなる」と述べている¹⁾。また追加検討により、新スクにより早期療育に繋がる可能性がどれだけ増すかを同様に検討したところ、そのオッズ比は20.21（ $p < 0.001$ ）であつたとも述べている¹⁾。この研究結果により、長い間、医療・療育・教育関係者が実感していた印象が、裏付けられたと言える。

なお、本書の次稿、また別稿でも解説があるように、新生児期に発症する聴覚障害がすべてではないので、新スク受検、あるいはそれを可能とする地域システムの整備、療育につなげるシステム作りは不可欠としても、その後の後発難聴、進行性難聴を忘れていけない。

2. 新生児期以降（生後2, 3カ月）のスクリーニングではいけないのか？

遅くとも生後3カ月には診断を終了していれば良いのだから²⁾、それが可能であれば、理論上スクリーニングの時期は新生児期でなくてもいいことになる。しかし、次のような課題がある。

- 1) 自動ABRは筋電図の影響を強く受けるため、スクリーニングの時期は睡眠時間が長い新生児期が最適である。
- 2) 一方、自動ABRは未熟性の影響を受けるため、なるべく脳幹が成熟してから検査できればそれに越したことはないので、新生児期

よりは生後1カ月、さらに生後2カ月のほうが望ましい。

もし、1)を優先すれば何度か再検査が必要になる児は比較的多く（現状）、2)を優先すれば未熟性による再検査例は減少するが覚醒する時間が増えるため筋電図が多くなり偽陽性が増えてしまう。また、2)の場合は全員をもれなく検査するためには、退院後に外来に来てもらって、かつ児が寝ている時間に合わせて検査しなければならない。こうして両方の長所と短所を考えると、入院中の寝ている時間に合わせて検査する現状1)のほうが現実的であろう。

なお、秋田県ではごく一部の自動OAE導入の産科施設を除き大部分の施設で自動ABRによる新スクが行われ、結果は他のマスキングと同様に1カ月健診で伝えることを原則としているが、1カ月健診で自動ABRによる再検査を行っている医療機関も多く、さらに要精査者が絞り込まれている。これにより、精密医療機関（耳鼻咽喉科）に紹介されてきた児で、精査の結果両側正常という場合はほとんどゼロとなっている。

3. まとめ

先天性の両側中等度以上の難聴に関しては、言語習得の適期を逸してはいけないという大原則があるため、20世紀までのような“保護者が難聴を疑ってから検査”では遅い。子どもの難聴の有無を、“早期から、定期的に、全員を”調べて対処していくことの重要性を啓発し、それが可能となる社会環境を作ることこそ、求められている施策である。新スクはその第一歩に過ぎないが、欠かせないものといえよう。

文 献

- 1) 笠井紀夫：早期の療育開始はどのような意義を持つか。聴覚障害児の日本語言語発達のために—ALADJINのすすめ—感覚器障害戦略研究 聴覚障害児の療育等により言語能力等の発達を確保する手法の研究、福島邦博（編）、テクノエイド協会、東京、2012。
- 2) Joint Committee on Infant Hearing: Year 2007 position statement: Principles and guidelines for early hearing detection and intervention programs. Pediatrics 120 (4): 898-921, 2007.

* 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター耳鼻咽喉科〔〒019-2413 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 352〕

平成23年度 厚生労働科学研究費補助金
感覚器障害戦略研究事業 総括・分担研究報告書

発行日 平成24年4月

発行者 公益財団法人テクノエイド協会

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4F

TEL 03-3266-6880 (代表)

FAX 03-3266-6885



古紙配合率70%再生紙を使用しています